

集団かぜ発生状況(平成28年12月15日) (NO. 9)

県内の集団かぜの発生状況は、次のとおりです。

1 平成28年12月15日(木)措置分 (1施設)

措置を取ったクラス等の状況

- (1) 患者数 18 名
(2) 施設別発生状況 裏面のとおり

2 既発施設における本日の措置状況 裏面のとおり

3 現在までの状況

措置を取ったクラス等の状況

- | | | |
|-----------|-------|--|
| (1) 在籍者数 | 510 名 | |
| 患者数 | 241 名 | |
| (2) 発生施設数 | | |
| 措置状況 休校 | 0 施設 | |
| 学年閉鎖 | 3 施設 | |
| 学級閉鎖 | 12 施設 | |
| 計 | 15 施設 | |

注:在籍者数及び患者数は、措置を取ったクラス等の初発報告の累計

注:同一施設で措置を変更した場合は、休校、学年閉鎖、学級閉鎖の措置の規模の大きい方に変更してあります。

(参考1)

集団かぜの発生状況は、インフルエンザ様疾患(※)による欠席等により、学級閉鎖等の措置をとった場合の報告です。

※ インフルエンザ様疾患:38度以上の発熱かつ急性呼吸器症状(鼻汁若しくは鼻閉、咽頭痛、咳のいずれか1つ以上)を呈した場合をいう。

(参考2)

インフルエンザの予防のために

- ① 流行前のワクチン接種
- ② 咳エチケット
 - 咳・くしゃみの際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。
 - 呼吸器系分泌物(鼻汁・痰など)を含んだティッシュをすぐに蓋付きの廃棄物箱に捨てられる環境を整える。
 - 咳をしている人にマスクの着用を促す。
 - マスクの装着は説明書をよく読んで、正しく着用する。
- ③ 外出後の手洗い
- ④ 室内の適度な湿度の保持(50~60%)
- ⑤ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ⑥ 人混みや繁華街への外出を控える

石川県ホームページの「インフルエンザ情報」に、予防情報等を掲載しています。

施設別発生状況

(平成28年12月15日措置分)

	施設名	所在地	措置を取ったクラスの状況				備考
			学年・クラス名	在籍者数(人)	患者数(人)	措置(期間)	
1	ウチナダ チョウリツ オオネ ブ ショウガッコウ 内灘町立大根布小学校	内灘町大根布	5年1組	36	18	学級閉鎖 (12/15~16)	5年生は全2クラス
				36	18		

既発施設における本日の措置状況

区分	施設名
休校 (0施設)	
学年閉鎖 (1施設)	小松市立日末小学校(1年)
学級閉鎖 (1施設)	野々市市立布水中学校(1年5, 6組)